



2021年12月14日

各 位

会 社 名 OUGホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 勝 田 昇
(コード：8041 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員 経営基盤グループ担当
山 田 稔
(TEL. 06-4804-3031)

新市場区分における「スタンダード市場」選択申請に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年4月4日に移行が予定されている株式会社東京証券取引所（以下、「東証」という。）の新市場区分における当社株式の上場市場について、下記のとおり「スタンダード市場」を選択申請することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

今後は、東証の定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります。

記

1. 新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する判定結果

当社は、2021年7月9日付で東証より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認しております。

また、新市場区分「プライム市場」の上場維持基準への適合状況につきましては、「流通株式時価総額」および「売買代金」において適合していないことを確認しております。

2. 市場選択を判断するにあたっての議論の経緯

当社は、市場選択にあたり、当社グループが事業を行っていくうえで、長期的にご支持・ご支援をいただくため株式市場との関係性はどうあるべきかを念頭に置き、

(1)「新市場改革の目的と各市場のコンセプト」、(2)「各市場の上場維持基準への適合状況と適合対応策」、(3)「当社グループの現状と目指すべき姿」等の観点から議論を重ねてまいりました。

(3)の「当社グループの現状と目指すべき姿」に関しては、①当社株式の特性と株主構成・特性、②グループ経営状態（経営理念・戦略、収益構造・財務状況、事業ポートフォリオ、組織体制・人的資源、ガバナンス・管理水準、情報システム、サステナビリティ、IR活動等）の各項目において、「当社グループの現状」を前提として、「今後、持続的に成長し、中長期的な企業価値を更に向上させていくためには、当社グループはどうあるべきか。（目指すべき姿は何か）」について、議論を行ってまいりました。

3. 当社の現状認識・考え方と選択した市場区分

当社グループは、当社が新市場区分におけるいずれの市場を選択するにしても、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上は、企業として最大の使命であると認識しております。

あわせて、当社グループは、これまで、生活に密着した内需対応型の水産物卸売業を中心とした事業を展開してきた企業グループであり、当社の株主構成等についても、長期保有の株主様により大半が構成されており、こうした現状をふまえた経営が求められると認識しております。

また、当社グループの経営全般の水準等については、更に高みを目指すために一定の改善余地があると認識しております。

当社グループは、現在、グループ中期経営計画を推進しており、これによって業績を向上させるとともに、今般の議論を通じて抽出された方向性等に留意して、ガバナンスをはじめとする経営全般の水準の更なる向上にスピード感をもって取り組んでまいります。

このような取組みを通じ、株式の流動性の向上にも努めてまいります。

以上のとおり、市場改革の目的・市場のコンセプト、上場維持基準への適合状況と適合対応策、当社グループの経営全般の水準等を総合的に勘案し、スタンダード市場を選択することが適切であるとの結論に至りました。

株主・投資家をはじめとするステイクホルダーの皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上